

年次別の主な著作一覧

昭和7年(1932)

富山売薬業史研究 —— 其起源並に薩摩組及び越後組の旅先活動 —— (卒業論文)

昭和10年(1935)

独逸ハンザ都市リューベックの成立について『東京商科大学研究年報 経済学研究』

昭和12年(1937)

中世北欧商業の展開 (1、2・完)『社会経済史学』第7巻第6号、第7号

昭和13年(1938)

ハンザ同盟の成立『一橋論叢』第1巻第5号

都市経済を繞る最近史学界の動向『一橋論叢』第2巻第6号

昭和14年(1939)

独逸都市法形成の社会史的基礎『東京商科大学研究年報 法学研究』

古ゲルマン文化連続性の問題『社会経済史学』第9巻第7号

昭和15年(1940)

フランク王国の商業交易『一橋論叢』第5巻第5号

独逸史学界近況『一橋新聞』

昭和16年(1941)

中世都市『社会経済史学』第10巻第11・12号

ゲルマン都市の先駆的諸形態『一橋論叢』第8巻第2号 8月

昭和17年(1942)

商人ギルドと都市領主『社会経済史学』第11巻第11・12号

昭和18年(1943)

独逸中世史の研究 日本評論社

昭和19年(1944)

都市及びギルド『世界史講座』第7巻 弘文堂

昭和21年(1946)

ドープシュの史観と「発展」の問題 『歴史評論』創刊号
欧羅巴世界成立観の諸型類 『思想問題研究』第1巻第5号

昭和22年(1947)

移動期東ゴート族の王権伸長 『一橋論叢』第17巻第1・2号
そゲルマン民族の国家形態 『歴史学研究』第127号

昭和23年(1948)

文化の没落と再興 『新星』第1巻第5号
転換期の歴史把握のために 『季刊理論』第3・4号 5月
中世経済史家としてのマックス・ウェーバー —— 都市研究を中心に —— 『社会科学研
究 1』

昭和24年(1949)

ヨーロッパ社会の誕生 啓示社
西欧市民意識の形成 春秋社

昭和25年(1950)

西洋経済史 新紀元社
西洋中世世界の成立 岩波書店
アルフォンス・ドープシュ 『社会経済史学』第16巻第2号

昭和26年(1951)

ゲルマン民族の国家と経済 勁草書房
独逸中世史の研究(簡約版) 勁草書房

昭和27年(1952)

歴史学 新紀元社
都市 —— その根底にあるもの —— 如水書房

昭和28年(1953)

現代歴史学の新動向(編著) 如水書房
アンリ・ピレンヌの業績について 『一橋論叢』第30巻第5号

昭和29年(1954)

中世都市の成立について 『市政』第3巻第4号

昭和30年(1955)

歴史学入門 河出書房

西洋経済史 上巻 (宮下孝吉、高村象平氏と共著) 有斐閣

西洋経済史概論 春秋社

昭和31年(1956)

歴史学 『社会科学入門』 みすず書房

昭和32年(1957)

都市 弘文堂

ヨーロッパの横顔 平凡社

昭和33年(1958)

増訂版 西欧市民意識の形成 春秋社

昭和34年(1959)

歴史学入門 河出書房新社

西洋封建社会成立期の研究 岩波書店

図説世界文化史大系 第7巻 (柳宗玄氏と共編) 角川書店

昭和35年(1960)

社会経済史大系全10巻 (高村象平、小松芳喬、矢口孝次郎氏と共編) 弘文堂

改訂版 都市 弘文堂

中世前期の概説『社会経済史大系』II

古典古代の概説『社会経済史大系』I

昭和36年(1961)

ゲルマン民族の社会と経済、民族大移動と部族国家、フランク王国の成立と発展『世界の歴史』5 筑摩書房

昭和37年(1962)

地域史研究の効用と限界 『一橋論叢』第47巻第3号

昭和38年(1963)

歴史と現実 —— 日本における西洋史研究の問題状況 —— 『思想』第468号

昭和39年(1964)

東と西 春秋社

昭和40年(1965)

体系経済学辞典（高橋泰蔵氏と共編） 東洋経済新報社
ヨーロッパにおける歴史研究の課題と方法 『思想』第489号

昭和41年(1966)

増補 西洋経済史概論 春秋社
歴史学概論 廣文社
大学でいかに学ぶか 講談社
日本の町とヨーロッパの町 『都政』6号

昭和42年(1967)

ヨーロッパとは何か 岩波書店
歴史する心 創文社

昭和43年(1968)

都市 筑摩書房
経済学へのすすめ(荒憲治郎、山田勇、都留重人、宮沢健一氏と共著) 講談社現代新書
経済史学の性格とその方法『経済学へのすすめ』

昭和44年(1969)

増補版 ゲルマン民族の国家と経済 勁草書房
増補版 西欧市民意識の形成 春秋社

昭和45年(1970)

随想全集 第5巻（貝塚茂樹、柳田国男氏と共著） 小学館
西洋と日本（編著） 中公新書

昭和46年(1971)

歴史と社会 アテネ新書
新版 西洋経済史概論 春秋社
経済学ガイドブック（馬場啓之助、都留重人、小泉明氏と共編） 東洋経済新報社

昭和47年(1972)

歴史としての中世都市 『創文』104号 昭和50年3月まで連載。

昭和48年(1973)

都市自治の原点について 『岩波講座現代都市政策月報』

私の学問遍歴 『書窓』 第15号

昭和49年(1974)

西洋中世社会史研究 岩波書店

一歴史研究者の切なる願い 『創文』 131号

昭和50年(1975)

近代の成立と中世 (共著) 二玄社

歴史の破綻=文化・経済・国家 (共著) 二玄社

ヨーロッパの都市と生活 筑摩書房

昭和51年(1976)

比較社会史への道 『黎明叢書』 第138号

昭和52年(1977)

中世都市研究における私の問題点 『比較都市史研究会報』 第3巻第3号

私にとっての地域主義 『地域開発』 6月号

昭和53年(1976)

地域主義の展開 玉野井・清成・中村共編 『地域主義』 学陽書房

「ヨーロッパ近代」を超える道 『公明』 7月号

昭和54年(1979)

ヨーロッパの都市と市民意識 『市政』 4月号

地域主義の源流 『農業構造改善』 5月号

昭和55年(1980)

地域の思想 筑摩書房 (筑摩叢書266)

社会科学に求められるもの——実証性そして現実社会への貢献を—— 『公明』 9月号

昭和56年(1981)

三浦弘万著「ゲルマン経済・社会・文化の史的研究」(書評) 『社会経済史』 10月号

昭和57年(1982)

国家の諸相〈シンポジウム〉 『思想』 10月号

昭和58年(1983)

歴史と史料 —— 一つの反省 —— (依光良馨教授退任記念号) 『東京経済大学会誌』

昭和59年(1984)

思い出の本 尾崎一雄ほか 出版ニュース社
体系経済学辞典 改訂6版 東洋経済新報社

昭和60年(1985)

ヨーロッパ中世の社会史 岩波セミナーブックス 岩波書店
地域の力 (学陽選書) 学陽書房

昭和62年(1987)

学問研究の在り方について —— 増田四郎・前日本学術振会長に聞く —— 『学術月報』 8月号